

第74回書道芸術院展併催

第72回 全国学生書道展作品募集規定

- 全国学生書道展指導者作品展示

第73回書道芸術院展表彰式 第71回全国学生書道展



第71回展表彰式記念撮影（帝国ホテル富士の間）

会期 令和3年2月5日(金)～2月11日(木・祝)
9：30～17：30 (11日は14：00終了)
※入場は30分前まで

会場 東京都美術館

主 催 公益財団法人書道芸術院

後 援 文化庁 公益社団法人全日本書道連盟

毎日新聞社 (一財)毎日書道会

毎日小学生新聞



私たちは「日本の書道文化」の
ユネスコ無形文化遺産登録を
応援しています。

第74回書道芸術院展併催

第72回 全国学生書道展

—併催 全国学生書道展指導者作品展示—

第72回 全国学生書道展開催に当たり

昭和22年（1947）11月23日創立された書道芸術院は、翌年2月第1回展を東京都美術館で開催、ほぼ機を同じくして第1回全国学生書道展を昭和24年（1949）12月8日～20日、半切条幅作品で開催、第2回展以降書道芸術院展の併催展として継続してきました。昭和26年（1951）8月5日～12日第1回全国学生小品競書大会として、半紙による児童生徒のための書道コンクールを開催、半紙による学生書道展は全国初の企画がありました。組織を全日本学校書道連盟主催とし、姉妹組織として運営してきました。

平成25年（2013）公益財団法人認可まで、夏の半紙展と2月本展併催の半切条幅展の2本立てで開催してまいりました。公益財団法人認可を契機に合併し、第64回展より公益財団法人書道芸術院主催、全国学生書道展として現在に至っています。

本年は72回展を迎えることとなりましたが、折からの新型コロナウイルスの蔓延影響を受け、出品の皆様、ご指導いただいている先生方、ご家族の皆様はじめ、多くの方々に大変なご苦労ご迷惑をおかけしながらの開催となりました。苦しく厳しい情状ではありますが、本展開催の趣旨、書写書道教育の振興発展のため、何よりもこれまで一生懸命努力を重ね、練習に励んでこられた児童生徒の皆さん的作品発表の場として、是非とも展覧会を成功させたいと思っております。

ご理解をいただき出品のご協力をいただきますよう、切にお願い申し上げます。

令和2年6月

公益財団法人 書道芸術院
理事長 辻元大雲

第74回書道芸術院展併催

第72回 全国学生書道展作品募集規定

会期 令和3年2月5日(金)～2月11日(木・祝) 9：30～17：30 (入場は30分前まで)
ただし、2月11日は14：00まで (入場は30分前まで)

会場 東京都美術館 (東京都台東区上野公園)

参加資格 第1部 幼児・小学生

第2部 中学生

第3部 高校生

第4部 大学生・専門学校生

(前回までの大賞受賞者は、同一部門内 (例 第1部小学生部の内)においては招待出品とします。出品料は無料)

部門 ① 半紙部門 (たて34cm よこ25cm)

② 半切1/2部門 (70cm×35cm)

(どちらの部門にも出品できます。)

	半紙部門	半切1/2部門
出品点数	<ul style="list-style-type: none">一人何点でも出品できます。団体、個人とも10点以上で参加できます。 <p>※半紙と半切1/2のどちらかが規定数に達していれば出品できます。</p>	<ul style="list-style-type: none">一人3点まで出品できます。団体、個人とも1点以上で参加できます。
出品料	<ul style="list-style-type: none">1点 500円	<ul style="list-style-type: none">1点 1000円 (一人3点まで)
募集作品	<ul style="list-style-type: none">1 書写、書道作品、字句は自由2 毛筆、硬筆など表現自由。3 幼小中学生は<u>学年氏名を本人が書く。</u>4 高校、大学生は落款の体裁を整える。	<ul style="list-style-type: none">1 幼児・小・中学生は<u>別紙規定課題</u>または<u>自由課題</u>自由課題…2文字、学年で使用するもの。2 高校、大学生は<u>課題自由</u> (創作または臨書)3 幼小中学生は<u>学年氏名を本人が書く。</u>4 高校、大学生は落款の体裁を整える。
作品大きさ	<ul style="list-style-type: none">普通の半紙版以内 (たて長使用) (たて34cm よこ25cm以内) (この大きさ以内の小さいものは半紙に糊付)	<ul style="list-style-type: none">小画箋半切1/2以内 (70cm×35cm)幼児・小・中学生は縦長使用に限る高校・大学生は縦横自由 (創作臨書自由) (この大きさ以内のものは半切½に糊付)
出品要領	<ul style="list-style-type: none">同一人の作品は左上をゼムクリップ止め作品の表に黒鉛筆で下記の①から⑤を記入 ① 校名 ② 学年 ③ 名前 <u>(①～③は内申上位1割について記入)</u> ④ 団体番号 ⑤ 作品番号 <p>※多数出品の場合も1枚ごとに全て記入 ※団体番号は出品予約申し込みにより通知。</p>	<ul style="list-style-type: none">同一人の作品は左上をゼムクリップ止め作品の表に黒鉛筆で下記の①から⑤を記入 ① 校名 ② 学年 ③ 名前 <u>(①～③は内申上位1割について記入)</u> ④ 団体番号 ⑤ 作品番号 <p>※3点出品の場合も1枚ごとに記入 ※団体番号は出品予約申し込みにより通知。</p>

作品締切・搬入

日時 令和2年(2020年)10月26日(月)

場所 〒101-0031

東京都千代田区東神田1-16-7 東神田プラザビル3階

公益財団法人 書道芸術院内 全国学生書道展事務局

審査

日時 令和2年(2020年)11月4日(水)～8日(日)

褒賞

個人賞 (いずれも若干名)

	半紙部門	半切1/2部門
A賞	1 全国学生書道展大賞 2 全国学生書道展準大賞 3 (公財)書道芸術院理事長賞 4 (公社)全日本書道連盟賞 5 毎日小学生新聞賞 6 每日新聞社賞	1 全国学生書道展大賞 2 全国学生書道展準大賞 3 (公財)書道芸術院理事長賞 4 (公社)全日本書道連盟賞 5 每日小学生新聞賞 6 每日新聞社賞
B賞	全国学生書道展優秀賞	全国学生書道展優秀賞
C賞	全国学生書道展奨励賞	全国学生書道展奨励賞
	(以上特別賞、作品陳列) (ただし一人1点のみ陳列)	(以上特別賞、作品陳列) (ただし一人1点のみ陳列)
	推選特選金賞 銀賞 銅賞	推選特選金賞 銀賞 銅賞

団体賞 (半紙部門・半切1/2部門を合算して授賞、若干団体)

- ・全国優勝
- ・全国準優勝
- ・全国優秀
- ・全国表彰

陳列 特別賞入賞作品(A・B・C賞)を陳列します。
ただし、一部門一人1点陳列します。

ワークショップ 日時 令和3年2月6日(土) 10:00~11:30
令和3年2月11日(木・祝) 10:00~11:30

会場 東京都美術館(展示会場)

席上揮毫会 日時 令和3年2月7日(日) 10:00~11:00
会場 東京都美術館(展示会場)

表彰式 日時 令和3年2月7日(日) 13:00~
会場 帝国ホテル・富士の間(審査終了後ご連絡します。)

作品返送 作品・賞品・賞状は展覧会終了後、展覧会事務局より各団体・個人あてお送りします。

◎ 出品に当たっての注意事項

- 1 審査、陳列に対して、異議を申し立てることはできません。
- 2 締切日に遅れたり規定違反の作品は、審査の進行上、上位入賞に加えられないことがあります、また陳列にも制限を加えることがあります。
- 3 作品はつとめて保護しますが、不可抗力によって生じた事故に対しては、その責を負うことはできません。
- 4 本規定にないことが起こった場合は、実行委員会において協議し処理します。

出 品 に つ い て

- ◎ 前回展出品団体へは、出品に関する書類をお送りしております。
- 新しく出品される団体は電話またはFAXにてご連絡ください。出品に関する書類をお送りいたします。
- ご記入の際は校名など正式のものをお書きください。
- 学校名その他難解なものには、ふりがなを書きそえてくださるようお願いいたします。

◎ 作 品 に 記 入 す る 例 (作品に直接記入する)



本文Ⓐ・学年Ⓑ・氏名Ⓒは本人が書く。
作品に下記のように記入してください。
(半紙の部・半切½の部同様です。)

- ①②③④⑤は、エンピツで記入する。ゴム印でもよいが、陳列用を本部で裏打ち表装した時にじまない素材を使用してください。
(①~③は内申順位1割について記入)
- 団体番号・作品番号の位置は指定の個所に記入。
- 校名・学年・氏名は、都合により場所を変えてよい。
- 硬筆作品は半紙に貼り付け、四隅のみにのり付けする事。
- 半切½の部、高校・大学生の横形式は作品の下部に記入する事。

第72回 全国学生書道展 半切1/2の部課題

小学校1年生用



飯田春香先生書



下谷洋子先生書



後藤大峰先生書



川島舟錦先生書

小学校2年生用



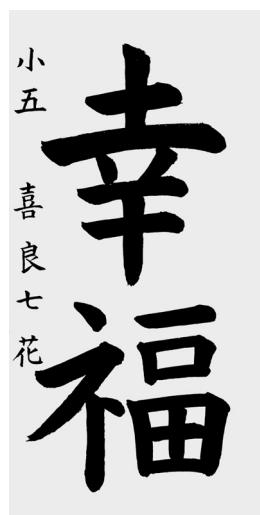
尾形澄神先生書



坂本素雪先生書



牧 泰濤先生書



稻垣小燕先生書

小学校3年生用



板垣洞仙先生書



半田藤扇先生書



小浜大明先生書



小林琴水先生書

中学校1年生用



種谷萬城先生書



広瀬舟雲先生書

中学校3年生用



辻元大雲先生書



名越蒼竹先生書

中学校2年生用



千葉蒼玄先生書



小竹石雲先生書

半切½部門課題

小 1	うた	はし
小 2	ゆび	まち
小 3	子犬	文明
小 4	平安	真心
小 5	和紙	幸福
小 6	調和	笑顔
中 1	星座(行書)	感動
中 2	勝利	散歩(行書)
中 3	将来(行書)	景観

中学生は楷書または行書

《半切½の部 自由課題について》

- ①小学1・2年生はひらがな2文字、小学3年生以上は上記課題文字以外のもので、その学年に適した漢字2文字とする。
- ②中学生は漢字2文字で楷書か行書とする。

第72回 全国学生書道展役員

名誉会員 (公益財団法人顧問)

大野 祥雲	香川 倫子	小伏 竹村	浜谷 芳仙	
飯高 和子	木村 船翠	小伏 小扇	齋藤 雨城	滝 春芳
鳥山 岳風	西林 乘宣	牧 泰濤	宮澤 梅徑	

参与会員

朝倉 春江	新井 京華	池田 遊子	池田 和京	石田 春窓
井尻 隆堂	泉 雪華	井上 喜水	上田 春泉	上柳 佳規
遠州 翠湖	大井美津江	大友 哲郎	尾形 燁鼎	小川 弘舟
小野 溪風	小野澤旭堂	小野寺一舟	加藤 如石	加藤 眺溪
加藤 白柳	狩野 翠桂	吉川 翠佳	木村 英峰	木村 貴衣
工藤 佑希	黒田 紘世	山藤美知子	杉井 舟苑	高橋 朋艸
田中 梨梢	谷脇 梅翠	玉野 浩水	田村 澄子	千葉 耕風
恒次 鶴城	寺地 春扇	外所 思水	長井 四枝	長富 東霞
西山 珠香	濱田 尚川	早村 春鶴	東 素子	真壁 顧綠
三浦 扇街	水田 春峰	水野 春翠	村田 龍城	矢内 香苑
八原 得安	山下 薫	大和 小舟	山野 水苑	和氣しげ代
和田 清香				

運営委員長 (公益財団法人理事長)

辻元 大雲

実行委員長 (公益財団法人常務理事)

下谷 洋子

実行副委員長 (公益財団法人常務理事)

小竹 石雲 後藤 大峰

本部役員 (公益財団法人理事、監事、評議員、参事)

石井 明子	板垣 洞仙	稻垣 小燕	尾形 澄神	川島 舟錦
北村 白琉	小浜 大明	小林 琴水	坂本 素雪	種谷 萬城
千葉 蒼玄	津田 海仙	名越 蒼竹	浜田 堂光	高田 幽玄
半田 藤扇	飯田 春香	飯沼 恵鳳	生田 翠龍	大石 仙岳
太田 蓮紅	大平 邑峰	加瀬 澄春	木村 東舟	工藤 永翠
小林 古径	崎井 恵風	佐藤 香山	佐藤 無極	佐藤 菜扇
田村 鄭雲	西岡 雨瑠	平川 峰子	三浦 鄭街	三森 慧香
山崎 掃雪	大辻多希子	金井 如水	熊谷 宗苑	最首 翠風
嵯峨 大拙	清水 翠徑	田守 光昭	畠中 弄石	前田 龍雲
山口 仙草	山田 梓江			

各部部長

学生展総務部長	江本 興舟	学生展審査部長	尾形 澄神
学生展陳列部長	三浦 鄭街	学生展表彰部長	飯田 春香
学生展揮毫部長	大平 邑峰	会計担当	近藤 尚子
事務局長	山口 仙草	学生展担当	佐藤 菜扇
事務局次長	片岡 豪峰		

中央審査員

A賞審査員 辻元 大雲	下谷 洋子	小竹 石雲	後藤 大峰	尾形 澄神
川島 舟錦				

A賞選考委員

大石 仙岳	太田 蓮紅	尾形 澄神	川村 美泉	工藤 永翠
武山 櫻子	田村 鄭雲	広瀬 舟雲	前田 龍雲	

中央審査委員

相澤 正華	阿部 恵泉	大隅 晃弘	大村 直子	岡田 紗穂
神谷 雲卿	桐岡 銘紀	坂本 龍水	佐藤 希雲	島田 白露
新行内芳蘭	鈴木 白鷺	都丸みどり	奈良 清扇	早川 蕙風
原島 春汀	福島 李舟	森地 桂鶴	柳橋 香仙	

地区審査員

北海道支局

齋藤 雨城 佐藤 陽春 西岡 雨瑠

北日本支局

相内 珠莉	赤坂 たけ	浅利 祥紫	石下 珠光	石田 和子	石橋 裕子	磯地 白麗
及川 祥空	小野澤旭堂	小原 華杏	亀井美智子	神澤 凌雲	工藤 永翠	工藤絵里子
工藤 溪舟	工藤 山房	工藤 佑希	熊谷 祥仙	黒沢 節子	齋藤 古洋	坂本 素雪
佐々木湖楓	佐々木蒼楓	佐々木千芳子	佐々木祐子	佐藤 香山	白石 雅子	杉本 敦子
瀬川 幸子	高橋喜代美	高橋 典子	武部 琴月	田中 梢翠	田中 扇溪	鳥山 岳風
野登 蒼山	長谷 久子	布施 瑞弘	古谷 天岳	宮本 紅雪	村田 龍城	柳町 祥香
山合 祥華	山田 湖舟					

東北総局

浅野 彩紅	阿部 雅悠	阿部 珠翠	阿部 翠麗	天野 白扇	荒川 空華	安藤 華祥
飯沼 恵鳳	池田 和京	伊澤 香雨	伊勢 紗由	一條 紅蕭	出原 悅柳	伊藤 翠心
氏家 久光	内山 瑶草	梅澤 四洋	遠州 翠湖	遠藤 華香	及川 豊流	大庭 幸石
太田 蓮紅	大槻 秀碧	大友 哲郎	大沼 樹峰	大町 青蓮	岡崎 翠園	尾形 敦
尾形 澄神	尾形 煉鼎	小川 香燐	小野 溪風	小野 由紀	小野寺一舟	小野寺京芳
小野寺三枝	角張 芳蘭	加藤 紫翠	金濱 珀燐	狩野 翠桂	亀井 勉	菊田 杏仙
木村 貴衣	木村 笙園	熊谷 青山	熊谷 宗苑	後藤 歩	後藤 大峰	後藤 法明
嵯峨 翔葉	嵯峨 大拙	佐久間玉流	佐々木青霞	佐々木豊苑	佐々木光之	佐藤 華炎
佐藤 弦佳	佐藤 翠萩	佐藤 芳石	佐藤 無極	佐藤 幽香	塩澤 美紅	庄司 紅邨
庄司 紫千	白地 清柳	鈴木 承琳	鈴木 翠夢	鈴木 善見	鈴木 智翠	鈴木 英晴
高井 俊篁	高橋 芳琴	高橋 明艸	高橋 真理	武山 櫻子	田代 明眸	玉井 瑞鼎
千葉 華紅	千葉 紅雪	千葉 四帆	千葉 春艸	千葉 蒼玄	長井 四枝	中川 紅蘭
中塙 朱華	中島 翠臘	中島 美樹	羽田 招佳	浜田 堂光	藤野 一峰	藤原 紅雲
本郷 清浩	松永 弘	宮本はるな	矢内 香苑	大和 小舟	横田 汀華	米倉 聲香

北関東総局

赤羽 恵舟	朝倉 春江	新井 京華	荒井 桜雲	石関 栄石	石関 竹苑	稻村由宇記
岩田 誠華	江口 薫蘭	大井美津江	大島 桂水	大嶋 珀暉	大辻多希子	岡田 紗韻
岡部 照芳	勝山 初美	加藤 如石	加藤 眺溪	金井 如水	金澤 正教	鎌木 梅道
鎌田 照耀	菊池富美子	北村 白琉	木村 東舟	九條 純代	國嶋 一春	倉林 紅瑠
木暮 千晶	齋藤 淳香	酒寄 光子	佐藤 香舟	佐藤 春華	佐藤 初香	佐藤ひとみ
篠田 祐子	清水喜代子	下谷 洋子	杉山 枝苑	鈴木せつ子	砂岡 裕子	仙場美枝子
善養寺紅風	高井 順子	高木百合子	田子 恵琉	田子 白嶺	田村 玲子	知野 洛水
塚越 紅苑	利村 郁子	外所 思水	戸部 和子	都丸みどり	中島 恵華	中田 政之
西川 翠嵐	西林 乘宣	根津 飛龍	根本 雅子	野口 加奈	林 和鳳	原島 春汀
治田 芳江	福島 李舟	福田 玉翠	福田 令子	藤村 昌子	真下 京子	松下 紅月
松村くに子	松本 揚扇	丸山 昂水	渡辺 紅葉			

南関東総局

相澤 正華	明石 麗子	浅見由紀子	麻生 峰扇	阿天坊聖堂	阿部 恵泉	安藤 麗華
飯高 和子	飯高 幽峰	池田 沙静	池谷 祥洞	石井とし子	石田 仙娥	石塚 結奈
石野 信絵	石橋 翠峰	板垣 洞仙	市川 蘭華	出野 峰雪	伊藤 懐舟	伊藤 桂華
井上 始源	井上 武士	岩井 颯雪	岩沢 芳仙	臼井 龍舟	海野 和子	江本 興舟
大内 燐軒	大越 墨扇	大隅 晃弘	大野 幽竹	岡崎 聖園	岡部 江里	小川 弘舟
小川 白柳	奥田 瑞舟	小倉 梅扇	小沢 華仙	小野寺聿源	小原 康寿	影山 扇葉
加瀬 澄春	片岡 豪峰	片山 千紗	片山 澄舟	加藤 白柳	金木 和子	柏野 青溪
木村 英峰	桐岡 銘紀	国吉 真雲	黒田 友美	國府田椿翠	小木曾泰香	小林 哲舟
小山 香雲	小山 彩虹	最首 翠風	齋藤千鶴子	斎藤 理舟	境 東芳	坂本 龍水
佐久間幸扇	佐藤 桂香	佐藤 星沙	佐藤 好美	佐藤 菜扇	白石 景汀	白石真砂子
新行内芳蘭	杉井 舟苑	杉田 麗子	鈴木 漢舟	須田 瑞兆	外山 静子	高木 竹香
高橋 潤	高橋 真舟	高見 如秀	田汲 京子	竹内 彩苑	竹浪 叙舟	橘 由華
田中 直樹	種谷 萬城	田村 鄭雲	塚原 康之	辻元 大雲	土田 詢扇	土屋 聖峰
鶴田 恵子	長井 孝子	長島 儂雨	中村 青蘭	中村 未踏	浪川 寿桂	奈良 清扇
西川 藤象	伯ヶ部總龍	花井 魚眠	花渕 桂舟	早川 道子	半田 藤扇	東 素子

平野	笛舟	舟寶	恵美	保谷	美芳	前田	恭子	益子	翠蘭	増田	美峯	町山	美扇
松戸	蘭城	松永	香秋	松村	秀扇	三浦	扇街	三浦	鄭街	宮内	幸弘	宮原	香扇
目黒	澄子	目良	泰幽	森	舞扇	森地	桂鶴	安川	佑佳	柳橋	香仙	山口	仙草
由利	芳葉	渡辺	秋湖	渡辺	柱雲	渡邊	美筍						

東京総局

阿部	蕙芳	天海	矩子	石井	明子	井藤	恵美子	大鹿	洋江	大町	菜円	大村	直子
香川	倫子	京	絹子	鴨下	恵子	鴨下	真妃	小池	蹊舟	小島	孝予	坂本	初泉
櫻井	恵華	佐藤	希雲	山藤	美知子	島田	理	島田	白露	清水	松香	清水	由紀子
下津	裕美	白石	和楓	鈴木	蕙月	鈴木	白鷺	須田	清子	滝	春芳	田村	澄子
千葉ヨシ子	東福	青篁	都倉むつみ	中島	正美	名護	幸江	名取	雅子	吉田	雪枝	鍾	匡子
平川	峰子	廣瀬	彩水	広瀬	舟雲	前田	まさ美	眞壁	顧綠	見越	茂男	道橋	美佐子
光枝	興二	三森	慧香	山崎	祥馨	山下	薰	横山	和子	吉田		吉永	春園
和氣しげ代													

甲信越支局

青柳	明華	赤羽	蘭徑	井尾	宏州	石川	三峰	一谷	春窓	上柳	佳規	金井	きく美
神谷	雲卿	小浜	桂雪	小浜	大明	小林	古径	小林	春郊	五味	典峰	小見山	桂窓
清水	翠徑	下島	重仙	武居	窓竹	千葉	耕風	浜口	瑞香	堀内	郁子	丸山	筑峰
三沢	明扇	宮澤	梅徑	山口	窓風	山本	琇華						

北陸支局

上田	和芳	大石	仙岳	佐々木	春子	佐々木	浩子	須藤	彰仁	竹脇	敬一郎	田守	光昭
塚本	真仙	津田	海仙	中瀬	美知	浜谷	芳仙	平岡	千香子	宮崎	芳玉		

関西総局

阿湯浜翠燕	有野	琤扇	飯田	春香	石川	溪華	石田	春窓	泉	雪華	井戸	三扇	
稻垣	小燕	井上	喜水	岩崎	竹渓	上田	琴秀	上田	春泉	上村	棠芳	大塚	清泉
大西	香蘭	大西	春雪	岡	紅水	岡村	惠窓	岡本	春映	小合	梨雪	河岡	北秀
菊池	昌春	北嶋	菁湖	北畠	芳草	黒田	紜世	桑原	明珠	小出	花雪	小林	琴水
小伏	小扇	小伏	竹村	崎井	恵風	新宮	文葉	高田	春来	高橋	煥扇	田中	惠泉
田中	梨梢	谷口	青龍	谷田	熾箋	玉野	浩水	樽井	勝子	辻川	松月	寺地	春扇
中尾	琴麗	長峯	万扇	橋本	玉扇	長谷川	五峯	畠中	弄石	早村	春鶴	東原	春城
日高	宏雲	藤原	聖美	藤原	江泉	藤原	小翠	堀田	白扇	前田	龍雲	牧川	逢扇
松浦	錦扇	松浦	智扇	水田	春峰	水野	春翠	森田	春珠	守田	小映	山岡	扶佐
山崎	掃雪	山野	水苑	山本	春英	横井	正江	横谷	尚惠	和田	清香		

山陰支局

生田	珠翠	生田	翠龍	井尻	隆堂	岩垣	若翠	奥原	翠嵐	木村	香翠	木村	船翠
妻藤	江葉	西古	春堂	道祖尾	良苑	末岡	紅樹	竹中	瑞峰	谷田	昭翠	徳岡	翠江
富山	邦蘭	名越	蒼竹	引田	恵華	廣田	憩龜	八原	得安				

山陽支局

赤沢	東洞	安達	春汀	池田	桂華	今村	菁華	大平	房子	大平	邑峰	大森	青風
乙倉	翠芳	川崎	鯉舟	吉川	翠佳	小竹	石雲	小竹	正高	小竹	明峰	小林	純風
小林	俊弘	千田	春月	恒次	鶴城	寺尾	京華	長富	東霞	中村	蒼月	中山田	桂風
西村	松苑	西山	珠香	林	春雪	藤井	龍仙	古谷	紫風	三宅	佳峰	森下久	美子
矢原	春窓	山田	梓江	山本	梨花	弓削	光峰						

四国支局

麻岡	優	朝倉	希代子	泉	令峰	伊与田	玉泉	上岡	まゆみ	大西	正子	大野	祥雲
大原	律子	岡田	慶子	尾崎	仁水	掛水	美翠	唐岩	碧水	川島	舟錦	川田	恵美子
川村	美泉	清遠	瑞	國澤	晶子	桜井	誠子	下元	真世	曾我	晋平	谷脇	梅翠
知原	志津	西村	紅葉	濱田	尚川	日比	康貴	藤崎	裕野	細木	美里	堀内	尚美
堀地	和加	三谷	嶺雲	山口	美津	山下	かおり	山中	健司	吉永	杏花		

九州支局

池田	遊子	泉原	操	今村	清香	大野	輝風	岡田	禮子	木村	安閑	児玉	韜光
小宮	静舟	椎木	山風	鈴元	博貫	高田	幽玄	牧	泰濤	三宅	照隅	山崎	臯月

全国学生書道展指導者作品展示

・出品資格

- ・本展出品指導者
- ・「書道芸術学生版」支部指導者
- ・書道芸術院審査会員

・会期

- ・令和3年2月5日(金)～2月11日(木・祝)

・会場

- ・第72回全国学生書道展会場
(東京都美術館)

・作品寸法

- ・半紙額内自由
(額内寸 50 × 38 cm 以内)
(タテ・ヨコ自由)

※本紙寸法はすこし小さくして下さい。

・マクリのまま出品

(本院で一括表装依頼)

・出 品 料

- ・15,000 円

(1人1点、表装料・返送料含む)

・出品手続き

- ・出品要項、出品票等を出品資格者へ送付します。
- ・必要な方はご請求ください。

・出 品 締 切

- ・令和2年10月26日(月)
(学生展作品と同じ)

・詳しくは別紙要項をご覧ください。

=第71回指導者展 役員作品=



「抱樸」

運営委員長　辻　元　大　雲



「春の初め」
実行委員長　下谷洋子



「冬日和」
実行副委員長　小竹石雲



「無」
実行副委員長　後藤大峰

第71回全国学生展（令和元年度）の上位入賞作品

△半紙の部△

このようにあらゆる書風のよいものが公平に審査されます。担当審査員が単独で決定してしまったことができる公開審査ですから、安心して出品することができます。



△半切1/2の部△



(これらの作品は上位入賞作品の一部です。)

・大賞・準大賞

地区番号	地区別一覧表	
1	北海道地区	北海道
2	北日本地区	青森 秋田 岩手
3	東北地区	宮城 山形 福島
4	北関東地区	群馬 埼玉 栃木
5	南関東地区	千葉 茨城
6	東京地区	東京 神奈川 海外
7	甲信越地区	新潟 長野 山梨 静岡 愛知 岐阜
8	北陸地区	富山 石川 福井
9	関西地区	大阪 奈良 京都 兵庫 三重 滋賀 和歌山
10	山陰地区	鳥取 島根
11	山陽地区	岡山 広島 山口
12	四国地区	徳島 高知 愛媛 香川
13	九州地区	福岡 熊本 佐賀 長崎 大分 宮崎 鹿児島 沖縄

半紙作品が10点まとまれば出品できる
展覧会です。

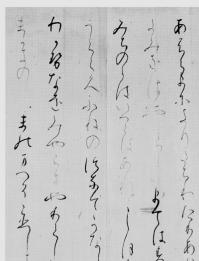
・半切½作品は1点から出品出来ます。

ふるってご出品ください。

(出品される団体は、事務局までご連絡下さい。
参加書類をお送りいたします。)



書道芸術



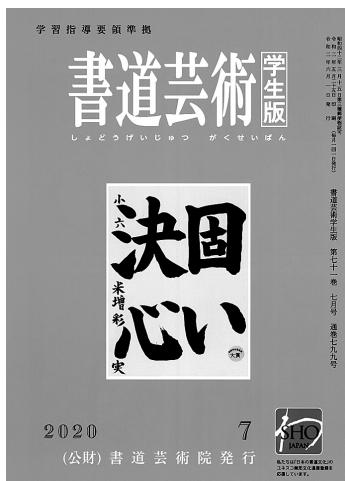
710 · 20. 6

公益財團法人 書道芸術院



月刊『書道芸術』 高校・一般競書誌

・誌代1部750円 送料79円 計829円



月刊『書道芸術学生版』 幼・小中学生用
毛筆・硬筆

・誌代1部430円 送料79円 計509円

申込み・問い合わせ

☎ 101-0031

東京都千代田区東神田 1-16-7

東神田プラザビル 3階

TEL. 03-3862-1954

FAX. 03-3862-1957

公益財團法人 書道芸術院